

# CARAVAN TO THE FUTURE

サハラと未来をつなぐ遊牧民たち



sahara  
eliki

このイベントはサハラ砂漠の塩キャラバンを支援する  
「Caravan to the future project」のファウンディングを支える

<https://camp-fire.jp/projects/view/72030>



# ラクダにまたがりソーラーエネルギーを利用して 撮影した3000kmに及ぶ大冒険!



ニジェール北部、アイール山脈。トゥアレグ族のキャンプ地では塩キャラバンの一隊が旅の準備をしている。テネレ砂漠を横切ってビルマ・オアシスを目指し、更にそこからナイジェリアのカノにたどり着くまでの準備を。その中に一人の外国人女性がいる。千年も昔より続けられている、サハラ砂漠の果てからブラック・アフリカの入り口までの三角点を巡るこの商いを体験し、伝えるために彼女はこの旅に同行しているのだ。キャラバンの経済効果は？その社会的な役割とは？トラックではなくラクダによる物資の運送にはどのような長所があるのだろうか？四ヶ月にもわたる長い旅の中で彼女は気づいた。彼らは時代遅れの失われつつあるキャラバンではなく、未来に向かい希望をもたらすキャラバンなのだとすることを。



## フランス・アフリカ・日本を舞台に活躍する ジャーナリストのデコート・豊崎アリサの初監督作品。

「トゥアレグ族」。世界中の音楽ファンの注目を集めているトゥーマスト、タミクレスト、ティナリウエンといったトゥアレグのバンドの音楽に触れて、ニジェール、マリ、アルジェリアのサハラの遊牧民である彼らの存在を知ったという人は少なくないのではないでしょうか。本作は、フランス・アフリカ・日本を舞台に活躍するジャーナリストのデコート・豊崎アリサが、ソーラーパネル発電エネルギーのみを利用して、トゥアレグ族の「塩キャラバン」の4ヶ月間にわたる過酷な旅に密着取材したドキュメンタリー映画です。古来より受け継がれているキャラバン隊の営みと、その自給自足の仕組みを撮影・記録しました。

デコート・豊崎アリサ | Alissa Descotes-Toyosaki  
ジャーナリスト | サハラ・エリキ主宰



日本人の母とフランス人の父を持ち、二つの文化の間を旅しながら育ったデコート・豊崎アリサは、ジャーナリストという職を自らの生き方として定める事となった。2006年にトゥアレグ族の遊牧生活を支援するためにサハラ・エリキ協会を設立。以降、通訳またはキャラバンの一員として旅の日記を綴っている。彼女のジャーナリストとしての活動は2011年の東日本大震災を機に本格化する。現在はパリ・東京・ニジェールという三つの拠点を行き来しながら、激動する現代と人間のサバイバルに焦点を合わせ、ニジェールのウラン鉱山などよりスケールの大きいルポルタージュに挑み、主にフランスや日本のメディアを通じて発信している(GEO MAGAZINE, DAYS JAPAN など)。



監督・撮影：デコート・豊崎アリサ | Alissa Descotes-Toyosaki

製作：SAHARA-ELIKI 編集：ヴァネサ・サムベルナルディ | Vanessa Zambenardi 日本語字幕編集：黒川貴 (LUFTZUG)  
(2016年/60分/フランス/フランス語・日本語字幕)



2018.6.9(土) 開場 11:30 — 開演 12:00 6.10(日) 開場 15:00 — 開演 15:30

上映会は無料(ただし入館料は必要です) 当日先着90名

上映終了後には、「塩キャラバン支援プロジェクト」を立ち上げた監督が人類遺産ともいえる塩キャラバンについて語るトークショーがあるので必見!

たばこと塩の博物館 3F視聴覚ホール | 東京都墨田区横川 1-16-3 Tel.03-3622-8801